



グリーンファイナンス市場の更なる発展に向けた個別の課題について

2024年12月5日

環境省 大臣官房 環境経済課 環境金融推進室

今回ご議論いただく個別の課題

■ これまでの議論を踏まえ、今回ご議論いただく個別の課題は以下の通り

- ① GBの今後の量の拡大・質の向上に向けたアプローチの在り方
- ② GBのインパクトレポーティングの質の向上に向けた課題
- ③ GL・SLL市場の更なる発展と、それに向けた個別の課題に関する対応の在り方

ご議論いただきたい事項①

GBの今後の量の拡大・質の向上に向けたアプローチのあり方

問題意識

- グリーンボンドの発行状況や足下の資金需要とグリーンファイナンス利用実績等のデータは、グリーンボンド市場の今後の更なる発展を考える上で、以下のような示唆があるのではないかと。
 - 脱炭素の資金需要に対しては、市場の発展の成果として、足下においてはグリーンボンドによる資金供給が概ね均衡に近づきつつあるのではないかと。
 - 他方で、今後発現するものも含め、資金需要がありながらも、グリーンボンドによる調達に至っていない企業や、そのような企業が多い産業全体に対し、何らかのアプローチが考えられるのではないかと。
 - また、グリーンボンドの資金使途の8割以上は脱炭素であり、非脱炭素領域（適応、生物多様性・自然資本の保全、資源循環等）の資金使途は、依然として限定的。
- なお、市場動向については、発行件数・額のみならず、社債に占める割合も勘案しながら、多様な観点で評価していく必要があるとともに、改めてグリーンボンドがもたらす環境改善効果についても目を向けていく必要があるのではないかと。



ご議論いただきたい点

- ✓ これまでに提示されたデータ・調査・分析等を踏まえ、脱炭素領域におけるグリーンボンドの今後の更なる発展について、量の拡大と質の向上の両面で、どのように考えるか。
- ✓ 脱炭素以外の資金使途への拡大に向けて、既にグリーンリストの拡充に取り組んでいるところだが、今後の取組の方向性をどのように考えるか。

ご議論いただきたい事項②

GBのインパクトレポーティングの質の向上に向けた課題

問題意識

- インパクトレポーティングは、グリーンボンドの環境改善効果を担保する上でも、企業が取組が市場で適切に評価されるうえでも、重要な役割を担うことが期待される。もっとも、現状においては、開示率にばらつきがある、定期的な更新がなされていない、外部評価の取得率が低い、プロジェクト単位での開示率が低い、指標の算出メカニズムが不透明、等の様々な課題が存在。
- グリーンファイナンス市場の更なる発展を考えると、グリーンボンドのインパクトレポーティングの質の向上に向けては、投資家・発行体それぞれがインパクトレポーティングの重要性を改めて認識すること、その上で実践を積み重ねていくことが必要と考えられる。
- なおその際には、レポーティングを重視していることや、望ましいレポーティングの在り方について、投資家側からの目線を明確化していくことも重要と考えられる。



ご議論いただきたい点

- ✓ グリーンボンドのインパクトレポーティングの進展が限定的であることについて、どのように捉えるか。また、限定的である要因について、どのように考えるか。
- ✓ インパクトレポーティングの更なる進展に向けては、投資家・発行体それぞれがインパクトレポーティングの重要性を改めて認識すること、その上で実践を積み重ねていくことが必要と思われるが、環境省としてどのように支援していくべきと考えられるか。
- ✓ またその効果として、量の拡大や投資家層の広がりを含め、市場においてどのようなポジティブな効果が想定されるか。

ご議論いただきたい事項③

GL・SLL市場の更なる発展に向けた課題

問題意識

- ローンによる調達状況や足下の資金需要とグリーンファイナンス利用実績等のデータを参照しても、中堅・中小企業にはグリーンローン、サステナビリティ・リンク・ローンを活用する余地があり、また地域における脱炭素の重要性を踏まえれば、今後もグリーンローンやサステナビリティ・リンク・ローンは重要なツールになるのではないか。
- 他方で、中堅・中小企業は、グリーンローンやサステナビリティ・リンク・ローンにより資金を調達する場面で、国際原則・ガイドラインへの適合が困難、フレームワーク策定・第三者評価取得・レポーティング等における負担が大きい等の問題に直面し、また資金調達をサポートする金融機関もそれらに共に直面していると考えられる。
- また、グリーンローンやサステナビリティ・リンク・ローン以外の金融商品（例：金融機関独自のESG商品）への目配せや、地域ごとの進展の差についても考えていく必要があるのではないか。
- なお、中堅・中小企業やその資金調達をサポートする金融機関に対するグリーンファイナンス促進策については、海外でも議論の進展が依然として限定的であり、日本の取組の海外発信や国際イニシアティブ等への貢献につなげていくことも検討していてもよいのではないか。



ご議論いただきたい点

- ✓ グリーンローン、サステナビリティ・リンク・ローンの重要性についてどのように考えるか。
- ✓ 中堅・中小企業やそのサポートにあたる金融機関がグリーンローン、サステナビリティ・リンク・ローンを活用する際に直面する問題について、市場の更なる発展や地域ごとの進展の差の解消に向けて、何が最も重要なボトルネックと考えるか。